

キャンパス・ハラスメント防止啓発活動の現場から

学生によるハラスメント防止啓発活動 —NON HARASSMENT

【NHP活動紹介】

こんにちは!中央大学ノンハラスメント・プロジェクト(通称NHP)です。私たちはハラスメントをなくし、より過ごしやすいキャンパスにしていくことを目標に活動している学生有志団体です。2008年に設立し、中央大学ハラスメント防止啓発委員会など大学の機関と協働して活動しています。現在7名(男性3名、女性4名)が在籍しています。

○ハラスメント防止啓発キャンペーン

(多摩キャンパス)

NHPは毎年10月に、中央大学ハラスメント防止啓発委員会と協働で「ハラスメント防止啓発キャンペーン」を行っています。今年度は10月7日(月)～11日(金)に実施致しました。今回のキャンペーンは“STOP!デートDV”をテーマに、7日(金)にはCスクエア中ホールでデートDV劇を上演いたしました。またキャンペーン期間中、図書館下ギャラリーではデートDVについてのパネルの展示、中央ステージではキャンペーンの主旨に賛同してくださった他の学生団体によるパフォーマンスと宣伝も行いました。これらキャンペーンの企画からデートDV劇の演者、パネルの作成は、全て私たちが中心となり行っています。

○東京ウィメンズプラザフォーラム

さらに学外の活動としては、2011年より東京ウィメンズプラザフォーラムという東京都主催のイベントに毎年参加しております。今年度も11月9日(土)に、デートDVをテーマに参加してまいりました。今年度初めて、明治大学、早稲田大学、中央大学(NHP)の3校協働でデートDVについての新企画も実施致しました。同じような活動をする大学生と交流する機会が今までなかったので、とても貴重で楽しい企画でした。現在、学外の団体との交流を積極的に行っていこうと進めております。

さて、こうやって活動内容を書いていくと、何だかとても堅い団体と思われてしまうかもしれませんが、いつものんびりアットホームな雰囲気です。私たちは大学生の立場から、大学生の視点でハラスメントについて知ってもらおうと活動しているので、何気ない会話・一言を大事にしています。今年度のキャンペーンのテーマであるデートDVも、テーマを決める際に恋愛話で盛り上がったから、という裏話もあるぐらいです。メン



デートDV劇のワンシーン(撮影=中大生協コープスタジオ)

バーが少なく大変…、という時もありますが、少人数で仲が良いからこそ、本音で話し合い、意見を尊重し合うことが出来ているのだと思います。

そんなNHPは現在メンバー大募集中です!ちょっとでも活動に興味を持ってくださった方はご連絡ください。学年学部は問いません。現メンバーも学部はバラバラですし、1年生から入った人も3年生で入った人もいます。

今後も、NHPは学生の立場から、ハラスメントについての知識の周知、防止啓発活動を積極的に行っていきます。学内でのキャンペーンはもちろん、学外の活動にも、皆様是非お越しください。今後とも応援のほど、よろしくお願い致します。

(代表:法3年 米山舞花)

【メンバーからのメッセージ】

<1年生>

僕がNHPに入るきっかけになったのは中ホールで公演してくれたデートDVの劇でした。とてもリアルで身近に感じました。もしかしたら自分自身にも起こるかもしれないと思い、その予防のために知識を得たり、NHPのメンバーとお話したいと思って入りました。

NHPはとってもアットホームな雰囲気で温かく歓迎してくれました。そして、さまざまな活動があってそのなかで学んだことはこれから先に生きていくと思っています。

(文1年 櫻場竜也)

PROJECT—



撮影=中大生協コープスタジオ

私は、授業でジェンダー・セクシュアリティ問題について学んでいます。その授業内でNHPの紹介があり、それをきっかけにNHPに入りました。授業やNHP活動紹介で、私たち学生も、ハラスメントを自分とは関係のないことだと思わず、問題意識を持っていくべきだと感じたからです。

NHPの活動で最初に参加したキャンペーンのデートDV劇では、加害者の役をやりました。演じる中で、自分は絶対にこんなことはしない、と思いましたが、デートDVの問題を、新たな視点で考えることができました。

今後も、ハラスメントとは何かというのが一人でも多くの人に伝わるよう、活動していきたいです。

(法1年 末弘裕子)

<2年生>

NHPでは、みなさんにハラスメントについて知ってもらうために、学内で1週間ほどキャンペーンを開催しています。私は今年、その準備を担当しました。

キャンペーン内容は、図書館下での展示・Cスク中ホールでの劇やパネルディスカッションで、昨年は「アカデミック・ハラスメント」を、そして今年は「デートDV」を扱いました。名前を聞いてもよくわからない!という方は、来年は是非キャンペーンにいらしてください。みなさんの身近で起こり得る事をテーマにしています。また期間中はお昼休みに中央ステージで様々な団体のパフォーマンスもしているので、足を運んでみてください。

準備は思うように進まなかったりと大変なことも多いですが、より多くの人に見に来てもらえるようあれこれ工夫して考えるのは楽しいです。来年もより良いものに出来るよう、頑張っていきます!

(経2年 権田祐輔)

<3年生>

私は活動を通して、NHPの魅力を伝えます!

それは「学生が活動する」ということです。

今回のキャンペーンでは、デートDVの劇を、演出・脚本・演技を全て私たち学生が行いました。

社会人の方や専門家の方ではなく、素人の学生が行うことで共感を得られたと強く実感しております。

ちなみに私は、デートDVの劇で加害者、被害者両方の役を演じました。どちらも実際に体験したことがないので、役になりきるのが大変でした(笑)。

今後も、私たちの魅力、「学生」を武器にして活動していきたいです。

(法3年 地代所悟)

ハラスメントはとても微妙な問題だと思います。互いの関係性や気持ちでも問題は変わり、一概に線を引けないということに加え、何より人の心に関わる点がとても複雑で繊細であると感じています。私は実際にハラスメントを受けた経験があるわけではないので、この問題を人に伝えるにあたり、悩むことばかりです。ですが、相手の気持ちを想像するというごく基本的なことが、伝える上でも、ハラスメントの問題解決の上でも、一番大切であると学びました。この問題を学ぶことは、自分の成長にもつながっていると感じます。

(文3年 山口果歩)



NHPの連絡先
chuonhp@gmail.com

